

獨り合點

白和西雨時報

勝者の横暴

NOTICIAS DO BRAZIL
 Publicado semanalmente
 Rua Fagundes N. 16
 Caixa Postal H
 Tele. Central, 5698
 S. Paulo, Brazil
 Proprietario e editor
 Seisaku Kuroishi

Assignaturas

por Anno	18\$000
.. Semestre	9\$000
.. Mez	1\$500
.. Semana	\$500

リオの伯國獨立百年記念大博覽會の統計館へ、統計局から出陳した種々興味ある統計中、伯國内に發行される新聞雑誌の數や、圖書館數や、學術文藝等の協會數を、各州別に調べた次表のやうな統計がある。そぞに依つて見るど聖州の何れに於ても第一位を占め、第一が知らるる。一千九百十二年の全國の新聞雑誌數は一千三百七十七種で、一千九百十二年には二千三百四十五種に增加了。又外國語で發行する者の中最多のものは獨逸語、次いで伊太利、第三がアラビア語、第四波蘭語、第五西班牙、第六佛蘭西、第七英語である。他と云ふ順である。

◆紅育の銀行獨逸國民銀行に依り保證の無利子大藏證券五千萬弗を賣出す額面通りに賣出して一九二六年四月十五日に百弗に對して百二十價の安定を補くる爲弗で發行される◆弗の割合で償還されると云ふのだからつまるところは利廻り六分で此の借款は累落止まるを知ら馬克記述◆米國國務省は巴里から佛國の借金を返す代りに佛領西印度を提供するこの報道を受取つた然し國務卿は記者團に根もない嘘で一笑に附した◆勞農露國は國內在留外人に對する課税率を定め同時に違反者に對する罰則も定められ百弗以上の給料を受くる者には八割の課稅するこ定む◆殺人犯として米國ベーダンで収監された伊國無政府主義者サコは放免されやう爲断食を決し三十一日が續けたが辛抱出来ず去十八日遂に米飯二オーンを平げ鋤角名案を滅茶盡に◆軍事探偵嫌疑者の裁判露都で行はれ三名は死刑殘餘は六年以上十年の禁錮の判決を受けたが此の日法英の歐洲諸問題から手を引いて昔の孤立超然政策をどうし他は外相の發展策何へも首肯せぬで英國の位置を高めやうと首相は駐獨帝を引揚げ危く佛國關係を斷つたるふと外相相撲力反對して現状維持◆夫婦別れをするる時された舊獨帝ごイルミニア姫との仲は至極睦じく同女自らユダヤ民族の記者に語つて曰く互ひに戀心生きる家庭◆實の様に舊獨帝はこの連子等を眞の子供のやうに可愛がるので子等もよくなづき長子の如きは舊獨帝の薪割の日課にもお手傳する程だ

至り、マト・グロツソの南部及びバ
ラナ州の東部から産出する木材やマ
テの輸出品の全部を運搬してゐる他
の一線はアッサンシオンを経てコル
ンバまで行き、殆どマト・グロツソ
の全產物、及びボリビア東部產品の
コレント、バランチナ等につけて
ラナ州の東部から産出する木材やマ
テの輸出品の全部を運搬してゐる他
の一線はアッサンシオンを経てコル
ンバまで行き、殆どマト・グロツソ
の全產物、及びボリビア東部產品の
コレント、バランチナ等につけて
の内下運轉中のものは二千
四千五百基米突を突破して、
リマ市の間を鐵路で往復され
る内下運轉中のものは二千
四千五百基米突を突破して、

◆佛蘭 西劇團女優ドリアを總大將、市にて南米巡業ルテリア號で伯國へ向ひ、今月末にはリオへ着く一座中にはお馴染の女優ジニエニ・ビュル子あり、同船でシャーピー、ビニエロ優五百基

◆外電一束◆
 一伊太利資本團の代表者三名は聖州マットンのカンブイ耕地買收商談の為伯國へ出發した同資本團は銀行家汽船會社珈琲輸入商等から成り移民取扱上伊國政府の定めた條件に従ひ伊太利移民を以て大規模に植民事業を營もうと云ふ計劃である前記三委員はリオ上陸後直ちに聖州カンブイ耕地に趣き同耕地の實地視察をする筈である(羅馬電報)

◆會議所大會ご移民
 羅馬に開催の萬國商業會議所大會では必要な各國は戰後歐洲に過剰する労力を利用し得る事又各國は絶対に移民を許し移民の輸送上缺くべからざる事以外何等制限すべきないが條件次第でその數を定むる事が出来る又移民は自由に船舶等籍の何れに於て船舶もその移民の國籍如何によつて待遇を異にしてはならないと決議した結果農業者間に分配する事を管理する又伊國前首相は伯國に農業移民を大規模に送る案を移民委員會に提出し参考にし伊國會社が土地を買入れそれを農業者間に分配する事を管理する案は移民をして迅速に地主にするに非常に利益だと云つた

◆駐伊國大使館書記官シルビオ・カストロ氏は羅馬大學で伯國の經濟學術の進歩につき第一回講演をし伯國の進歩に伊國移民の大貢獻せる事を見た傍聳者にはムソリニ首相エピタシオ伯國前大統領初め貴顯紳士等場内に溢る盛況だつた(以上羅馬電報)
 ◆墨國こ日汽船會社
 日本の有力な汽船會社の代表者は墨國政府へ太平洋沿岸諸港を網羅した航路開設に特權を出願した同社は該二ヶ月内には少くも二十隻の大汽船で日本支那米墨太平洋諸港間の航路を開始する等(メキシコ市電報)

◆噴火ご新島浮出
 佛領印度支那西貢地方に火山爆發のあつた後海岸を距る六十浬の海上に直經四百米突高さ三十五米突の一島が浮出する(巴里電報)

◆カンブイ耕地買收に
 一伊太利資本團の代表者三名は聖州マットンのカンブイ耕地買收商談の為伯國へ出發した同資本團は銀行家汽船會社珈琲輸入商等から成り移民取扱上伊國政府の定めた條件に従ひ伊太利移民を以て大規模に植民事業を營もうと云ふ計劃である前記三委員はリオ上陸後直ちに聖州カンブイ耕地に趣き同耕地の實地視察をする筈である(羅馬電報)

◆會議所大會ご移民
 羅馬に開催の萬國商業會議所大會では必要な各國は戰後歐洲に過剰する労力を利用し得る事又各國は絶対に移民を許し移民の輸送上缺くべからざる事以外何等制限すべきないが條件次第でその數を定むる事が出来る又移民は自由に船舶等籍の何れに於て船舶もその移民の國籍如何によつて待遇を異にしてはならないと決議した結果農業者間に分配する事を管理する又伊國前首相は伯國に農業移民を大規模に送る案を移民委員會に提出し参考にし伊國會社が土地を買入れそれを農業者間に分配する事を管理する案は移民をして迅速に地主にするに非常に利益だと云つた

◆駐伊國大使館書記官シルビオ・カストロ氏は羅馬大學で伯國の經濟學術の進歩につき第一回講演をし伯國の進歩に伊國移民の大貢獻せる事を見た傍聳者にはムソリニ首相エピタシオ伯國前大統領初め貴顯紳士等場内に溢る盛況だつた(以上羅馬電報)
 ◆墨國こ日汽船會社
 日本の有力な汽船會社の代表者は墨國政府へ太平洋沿岸諸港を網羅した航路開設に特權を出願した同社は該二ヶ月内には少くも二十隻の大汽船で日本支那米墨太平洋諸港間の航路を開始する等(メキシコ市電報)

◆噴火ご新島浮出
 佛領印度支那西貢地方に火山爆發のあつた後海岸を距る六十浬の海上に直經四百米突高さ三十五米突の一島が浮出する(巴里電報)

が浮出した(巴里電報)

◆經濟欄◆

貿易總勘定(下)

●伯國產の石炭

ルトアレグレから積出された南大河州產石炭は九千三百六十五噸に上つた。

●物價表(昨日)

大理石、タマンダレーに石灰石、コロンボ地方に陶土を産出する。

伯國の石炭に就いてリオのガゼツ

タ・デ・ノチシアス紙上に發表したラウル・カラカス氏の調査に依れば昨年度伯國の對外

●

新記錄の最順境

●

伯國の石炭に就いてリオのガゼツ

マットンのカンブイ耕地買收商談の為伯國へ出發した同資本團は銀行家汽船會社珈琲輸入商等から成り移民取扱上伊國政府の定めた條件に従ひ伊太利移民を以て大規模に植民事業を營もうと云ふ計劃である前記三委員はリオ上陸後直ちに聖州カンブイ耕地に趣き同耕地の實地視察をする筈である(羅馬電報)

●

新記錄の最順境

●

伯國の石炭に就いてリオのガゼツ

マットンのカンブイ耕地買收商談の為伯國へ出發した同資本團は銀行家汽船會社珈琲輸入商等から成り移民取扱上伊國政府の定めた條件

私は珈琲は伯國の厄介者で、財政上の災厄は皆之に基くと説くのを耳にするとき、實に呆然たらざるを得ないのであります。然るに諸外國では珈琲が美望に耐えざる伯國の富源である、偉大なる財政經濟上の基礎である、と高唱するのをやめません世界市場に於て事實的專賣品たる、世界的需要品を其の國の厄介物視し又ベルタリ其他に依つて數十年來貴重なる營養を失はないものを見事は、頭が狂つてゐるのでなければ、邪惡な人間殊に愛國心の全く缺けた者でなければ出來ません。當協會に於きまして初めて珈琲防衛に就いて講し、アウグスト・ラーモス博士が栽培の整理調節を説いたとき、本協會は熱心に防衛策を講じ、時のチビリサ政府は州議會の協賛を経た後採用したときにも、彼等一流の經濟學者輩は全力を盡して反対をしたものでした。彼等は外國經濟學者等の、舊弊な理論をこねまわしてゐました。今日ではあの思慮深い、保守的な英國人すらが、印度に於てその譏諷樹栽培の爲に、伯國人が珈琲の價格を高騰せしむる爲に探つたとの同様な方法を探用してゐます。かかる經濟問題に就て、英國人に先づ事二十年前に、その方法を實行した事を聖州人は誇りしなければなりません。私共は私共の同國人の多くが信せしめやうとするほど、それは云ふ珈琲の敵からして、今に他國の珈琲生産は吾人を凌駕するに至る、云ふ事はよく聞く事であります。其等競争者の平均生産は四百五十萬袋を超えてゐました、其時分伯國の生産もそれと稍同等なのであります。然るに今日に於ては外國の平均生産は、時々高低はありましたが五六十萬に達しません、それだのに一百二十萬に達しません、それだのに一千二百萬を超へました。我が國ではもう一千二百萬を超へました。

△聖州農會長の意見

●斯界の權威ビーアス氏の

伯國綿行脚(二)

△農務大臣への報告

私はこのごつた實際的指導は、やがて又實際上にそれが好成績をもたらすやうに、凡て豫期した如き好成績を納め得た、と云ふことを斷言する。その力を至大の喜びと致します。そして焼くが如き炎天の下に、内奥地方には有勝ちな不便不自由を忍んでの私等の努力は、不毛の地に種子を蒔いたのではなかつた、と云ふ確信を得て充分に報われました。

伯國人がその國民性とも云ふべき、歎待振を發揮して吾人の行を待つ中を自動車を引摺りながら、あらゆる困難に打ち勝つてセアラ、マラニヨン及びパラーラの諸州を最も詳細に調べて廻りました、そして此の他の地方はこの前の視察旅行で既に存じて居りましたのです。

日本圖書 賣藥一切
化粧品 小間物 反物雜貨 新古袋

◆農產物買入廣告◆

謹啓各位益々御盛榮奉大賀候降て弊店諸賢の御引立に由り日に増し繁榮に赴き難有奉等候就ては御厚意の萬一に報ひんが爲め今回各地方へ出張員を派遣し直接農產物賣買の御相談に應ずる事に致候間何卒倍舊の御引立賜はり度伏して御願申上候

▲綿 ▲米 ▲豆 ▲マモナ

▲珈琲等を買入れ 尚又右引當て契約に依り資金貸付の依頼に應すべく候

聖市サンベント街四〇番

ア・ロドリゲス會社

金持になりたければ FAZENDAS DO CAMBUHY

又こない新珈琲請負の好機を失すべからず

當耕地には六年間契約請負として未だ三十萬本の珈琲があります依つて希望者は此際に急申込をして下さい。但し請負申込をする前に先づ一度當耕地に遊び、皆日本人諸君の勢力下にあるフロリダ、カリオルニア、ビルジニア、アリゾナ、コロラド等の諸耕地を實地に視察する必要があります。之等の諸耕地を訪問し、直接同地の同胞諸氏本人は皆お金持になります。機會が大事です此好機を失つてはなりません。

中山旅館 中山忠太郎

御旅館旭 野口喜平治

コンデ、デ、サルゼーダス街五〇番
コンデ坂上にて眺望絶佳なる場所
電話 セントラール 四一〇二番

FAZENDAS DO CAMBUHY

Linha Araraquara - Estação de Mattão

中矢商店 K. NAKAYA

Rua C. de Sá, 69 São Paulo

サンパウロ市ルア・コンデ・デ・サルゼータス六十九番
電話セントラール六一二三六番

珈琲界の現状及將來

◇聖州農會長の意見

リア、ジヨアゼエロ、クラト、ジヨる、カナ子アからウバツーバの海岸
ゼ・デ・アレンカル、イコウ、イタ地方には五萬本を有する。
ビオカ、ソゾラル、イブウ、ノーバ鳳梨主なる產地はモジ・ミリンに
ス・ルサスの諸地方を歩きました。二百五十萬本、ボルト・フェリス郡尚
その他にアカラベ・デ・メイオ、ボイツーバには百四十萬、ピラ・ア
メリカナ及びノバ・オデツサを含むキシアダー、キシエラモビン、ハツ
キシエラモビン、ハツキシエラモビン、ハツキシエラモビン、ハツ

本籍熊本縣飽託郡白坪村大字
新土河原一一一三番地

▼▼▼▼▼ 日本圖書
賣藥一切
化粧品
小間物
▼▼▼▼▼
△△△△△
御強勉大▶

サンバウロ市ルア・コンデ・デ
サルゼー・タス六十九番
電話セントラール六一三六番

中矢商店

期男の精液は、たまたまアヌス附近に漏れ落ちた。

は、此の廣大な肥沃な地方は、世界の最良地と競争し得るに至らう、と云ふのである。而して昨年中の各鐵道の果實輸送量は次の如きである。
三アローバスとされてゐる。而して昨年中の各鐵道の果實輸送量は次の如きである。

尙又右引當て契約に依り資金貸付の依
賴に應すべく候

御菓子

◆田中金賞
村上銀市
Rua C. Sarzedas, 71

尙又右引當て契約に依り資金貸付の依
頼に應すべく候
聖市サンベント街四〇番

郎 este
呼出 ひきだし

—又こない新珈琲請負の
好機を失すべからず—
當耕地には六年間契約請負として未だ三十萬本の珈琲があります
つて希望者は此際至急申込をして下さい、但し請負申込をする前に依
先づ一度當耕地に遊び、皆日本人諸君の勢力下にあるフロリダ、カ
リフォルニア、ビルジニア、アリゾナ、コロラド、フンド等の諸耕地
を實地にて視察する事があります、諸耕地を訪問し直接同地の
同胞諸氏の實話を聽いてから請負申込をなす事づて下さい、カンブトイ
では日本人は皆お金持になります、機會が大事です此好機を失つて
はなりません

御旅館旭 野口喜平治

中山旅館 中山忠太郎

電話 セントラール 四五五九番

創 作

國を出でから　□○生　創作

青春の血湧き立つ二十四五歳の青年、肉付きの可い圓顔に太い一字の眉毛、緊く結んだ大隈侯の寫真で觀るやうな口目に巨大な鼻が胡坐をかいて意志の閃きを見せてゐる。漆の如く黒い頭髮を眞中から結麗に梳き區けた好い恰好が龜甲線の眼鏡の輪廓に相應して如何にも氣が利いた風姿だ、折目整い仕立おろしは小柄な男に似合の線筋綱、頸が太い勢いか高い二重襟が窮屈さうに白い襟飾をつけた過去數年間に於ける筋肉苦戦の痕跡とも觀ゆる。此寫眞の背景にはて丘のやうに崩れ上つて居るのは彼が海外に飛出し、家郷への音信を断つて居て其餘白に——遙に南の涯より新年来賀し貴女の健康を祝す——とそれは去年の今日であつた、家に届いた一束の年賀郵便の中から圖らずも袂別れて以來三年、どうしたものが彼は鞏い固い約束を忘れてはがき一本も呉れなかつた——薄情な男だが夢にも自からは忘れ得なかつた男の懲らしき立派な寫眞を發見して、ほつと顔を染めて小しい胸を躍らしながら美しい瞳を凝らし男のが不足だと言ふ母親の慈悲心から更にその上、唯ある町の裁縫學校に通つて居た、勿論他の朋輩と同様自分に珍らしい程色が白くて鼻が高いの嫁入仕度の仕立物を縫ふにも忙しい目をして。縫締は大して別嬪と言ふ程にも無いけれど惩らしき田舎者に似て髪が少し赤い所から恰で毛唐の様だ朋輩に評せられちに珍らしい程色が白くて鼻が高いそれに、姉に似て髪が少し赤い所から恰で毛唐の様だ朋輩に評せられちに珍らしい程色が白くて鼻が高いて居たが村では一と言つても二三下

らぬ物持の姉娘、加之高女を優等で
卒たと云ふことが評判となつて引き
も切らず四方八方から縁談を持込ん
て是が非でも宅の件にといふ熱心な
郡内屈指の財産家もあつたがともかく
彼女が來年裁縫學校を卒つた後の
相談としてあつたから一時はさうし
た縁談の雨も止んだ。
處が今、手が改つて見れば、愈々
今年こそ女一代の運命を極めねばなら
ぬかと思ふとまんじりとして眠ら
れない夜も有つた。
卒業期も追々迫切してお嫁入の仕
度が大分算筈の中を占領した去年の
春頃陽氣もぼか／＼暖かく、校庭
の桜花が爛漫として一時に咲き競ふ
運命を暗示してゐるかの如く。午後
の裁縫中、彼女は何か物思ひに耽り
つゝ、運針の手を息めて、恍惚と窓外
散らして逝く、それは丁度彼女等
に長閑なる春の逝くを惜んでゐる。
運命を暗示してゐるかの如く。午後
の桜花のやうな顔が倏忽と笑を含
んで聲もかけさうに分明と映た。
月は霞む春の夜や、岸邊の櫻風
に舞ふ、散り逝く花のひら／＼と…

◆稻田に立ちて
コンキスタ 福島生
青々と波うつ稻田にたゞづめば、稻
の香の高くもあるかな
一ごど／＼實る稻穂に見惚れつゝ、
黄金波打つ秋をしさ待つ
草深き土に親しむ身にしあれば、十
の恵ぞ願はしきかな

◆夕立立 小畑
シャパンテス 涼
夕立の晴れたる後の露おもみ、うな
山雨一過そよ吹く風の涼しさに、手
じかたげしばらの花かな

◆同じく
人色
同色
夕立の晴れたる後の露おもみ、うな
山雨一過そよ吹く風の涼しさに、手
じかたげしばらの花かな

◆秋色
同人
夕立の晴れたる後の露おもみ、うな
山雨一過そよ吹く風の涼しさに、手
じかたげしばらの花かな

モツカ東京殖民地上田生
だからと云つても出来ません。』
『俺だつてさ、お前をこんな目に遇
はすのはよく／＼さ、けれどもお前
自身が俺をかうさせるやうに強いる
んぢやないか。とにかくお前のやう
な女奴隸を、失ふと云ふ事は俺には
つまらない事はお前もよく知つてゐ
る。多分いつかはお前が自殺するの
を妨げるのを、俺に有難がる時があ
るかも知れないさ。』
『でせうか！妻は自分の手では死に
ません、が首斬役の手の下で死にま
せう。』
ムツクと身を起したイサウラは、
激怒に震えた調子外れの聲音で叫ぶ
『でせうか！妻は自分の手では死に
ません、が首斬役の手の下で死にま
せう。』
太手錠や鎖を持つて来て、腰掛け
上へ置いてすぐ出て行ってしまった。
その野蠻な屈辱極まる呵責道具を目
で、イサウラの兩眼は涙にあふれか

秋の夜のなかきを説く事もなく、
熟睡し得る身のすこやかさかな
遠煙むる野や山を見て淋しさの、身
に沁みまする秋雨の朝
軒場うつ雨の音にも思あり、一人旅
路の身にしあれば
出来秋の稻田に風の一どわたり、黄
金色濃く波の漂ふ

PEREIRA IGNACIO & CIA.

O CHYMOGENIO

胃腸病其他一切の消化器病無二の特効
根切藥

▲各地信用ある
藥店に販賣▼

◆薪だけで地代の二倍

左記の處に支部若しくは取次所置込んで、及し其他に關しては最寄の所へ便任手數を願ひます
(順序不同)

コンセイソン・デ・イタニヤエン
(Conselho de Itanhaém) にて
鐵道線に面した土地約五十アルヘ
スの賣物がありまつて、水は潤澤に
りまつし、薪を切り出して賣るだ
でも地代の二三倍には成ります詳細
Nicolau Aquilino
Rua Gralha-Buena, 61 S. Paulo
São Paulo

◆秋にモツーカ善方生
月のばる稻田の波や黃金色
霞をひれてさくともなしに虫の聲
留守居して居ねむりするや秋の宵
◆同じく ハヤバンチス 涼 燃

雨漏りにうたゝねの夢破れけり

伯刺西爾時報社

何十年間も住ふ土地を
日本人に奪取られると

◇ グアラニ印甸人等陳情 ◇

外國から来る移民が、新世界に建つ
命開拓の爲に、日一休む事
なしに、森を伐り林を拓いて、その
文化生活を進めて行くのに、一寸一
寸と奥地へ奥地へ

▲自然に逐ひ詰められてゆく印甸人

等が、自分等の棲む土地をやがては

奪はれやうと、取越苦勞が反抗心と

なつて、昨年も巴拉那州アラブア

バ郡の奥地で、印甸人等が内外民の

に續々入植して来る日本人等に、今

にも報道したが、今度は聖州南部海

岸地方の山林中に棲む、オベラや小

人等で有名なグアラニ族の後裔の印

甸人の一團が

▲八十歳と云ふ老人の、「お太陽様」

と呼ばれる酋長を押し立てて、去る

十五日サントスまで出て来て、地方

警察署長アラウジョ・ゴエス氏に頼

んで、聖市行きの乗車券を貰ひ受け

て出聖する事となつた、彼等の云ふ

所をきくと、既に先祖の代から、何

十年もの間住んでゐる土地が、附近

に奪はれて仕舞ひ相だ

▲と心配して、農務部長官に陳情の

上、自分等の土地について保護を得

たいと云ふのである

▲自然に逐ひ詰められてゆく印甸人

等が、自分等の棲む土地をやがては

奪はれやうと、取越苦勞が反抗心と

なつて、昨年も巴拉那州アラブア

バ郡の奥地で、印甸人等が内外民の

に續々入植して来る日本人等に、今

にも報道したが、今度は聖州南部海

岸地方の山林中に棲む、オベラや小

人等で有名なグアラニ族の後裔の印

甸人の一團が

▲八十歳と云ふ老人の、「お太陽様」

と呼ばれる酋長を押し立てて、去る

十五日サントスまで出て来て、地方

警察署長アラウジョ・ゴエス氏に頼

んで、聖市行きの乗車券を貰ひ受け

て出聖する事となつた、彼等の云ふ

所をきくと、既に先祖の代から、何

十年もの間住んでゐる土地が、附近

に奪はれて仕舞ひ相だ

▲と心配して、農務部長官に陳情の

上、自分等の土地について保護を得

たいと云ふのである

▲自然に逐ひ詰められてゆく印甸人

等が、自分等の棲む土地をやがては

奪はれやうと、取越苦勞が反抗心と

なつて、昨年も巴拉那州アラブア

バ郡の奥地で、印甸人等が内外民の

に續々入植して来る日本人等に、今

にも報道したが、今度は聖州南部海

岸地方の山林中に棲む、オベラや小

人等で有名なグアラニ族の後裔の印

甸人の一團が

▲八十歳と云ふ老人の、「お太陽様」

と呼ばれる酋長を押し立てて、去る

十五日サントスまで出て来て、地方

警察署長アラウジョ・ゴエス氏に頼

んで、聖市行きの乗車券を貰ひ受け

て出聖する事となつた、彼等の云ふ

所をきくと、既に先祖の代から、何

十年もの間住んでゐる土地が、附近

に奪はれて仕舞ひ相だ

▲と心配して、農務部長官に陳情の

上、自分等の土地について保護を得

たいと云ふのである

▲自然に逐ひ詰められてゆく印甸人

等が、自分等の棲む土地をやがては

奪はれやうと、取越苦勞が反抗心と

なつて、昨年も巴拉那州アラブア

バ郡の奥地で、印甸人等が内外民の

に續々入植して来る日本人等に、今

にも報道したが、今度は聖州南部海

岸地方の山林中に棲む、オベラや小

人等で有名なグアラニ族の後裔の印

甸人の一團が

▲八十歳と云ふ老人の、「お太陽様」

と呼ばれる酋長を押し立てて、去る

十五日サントスまで出て来て、地方

警察署長アラウジョ・ゴエス氏に頼

んで、聖市行きの乗車券を貰ひ受け

て出聖する事となつた、彼等の云ふ

所をきくと、既に先祖の代から、何

十年もの間住んでゐる土地が、附近

に奪はれて仕舞ひ相だ

▲と心配して、農務部長官に陳情の

上、自分等の土地について保護を得

たいと云ふのである

▲自然に逐ひ詰められてゆく印甸人

等が、自分等の棲む土地をやがては

奪はれやうと、取越苦勞が反抗心と

なつて、昨年も巴拉那州アラブア

バ郡の奥地で、印甸人等が内外民の

に續々入植して来る日本人等に、今

にも報道したが、今度は聖州南部海

岸地方の山林中に棲む、オベラや小

人等で有名なグアラニ族の後裔の印

甸人の一團が

▲八十歳と云ふ老人の、「お太陽様」

と呼ばれる酋長を押し立てて、去る

十五日サントスまで出て来て、地方

警察署長アラウジョ・ゴエス氏に頼

んで、聖市行きの乗車券を貰ひ受け

て出聖する事となつた、彼等の云ふ

所をきくと、既に先祖の代から、何

十年もの間住んでゐる土地が、附近

に奪はれて仕舞ひ相だ

▲と心配して、農務部長官に陳情の

上、自分等の土地について保護を得

たいと云ふのである

▲自然に逐ひ詰められてゆく印甸人

等が、自分等の棲む土地をやがては

奪はれやうと、取越苦勞が反抗心と

なつて、昨年も巴拉那州アラブア

バ郡の奥地で、印甸人等が内外民の

に續々入植して来る日本人等に、今

にも報道したが、今度は聖州南部海

岸地方の山林中に棲む、オベラや小

人等で有名なグアラニ族の後裔の印

甸人の一團が

▲八十歳と云ふ老人の、「お太陽様」

と呼ばれる酋長を押し立てて、去る

十五日サントスまで出て来て、地方

警察署長アラウジョ・ゴエス氏に頼

んで、聖市行きの乗車券を貰ひ受け

て出聖する事となつた、彼等の云ふ

所をきくと、既に先祖の代から、何

十年もの間住んでゐる土地が、附近

に奪はれて仕舞ひ相だ

▲と心配して、農務部長官に陳情の

上、自分等の土地について保護を得

たいと云ふのである

▲自然に逐ひ詰められてゆく印甸人

等が、自分等の棲む土地をやがては

奪はれやうと、取越苦勞が反抗心と

なつて、昨年も巴拉那州アラブア

バ郡の奥地で、印甸人等が内外民の

に續々入植して来る日本人等に、今

にも報道したが、今度は聖州南部海

岸地方の山林中に棲む、オベラや小

人等で有名なグアラニ族の後裔の印

甸人の一團が

▲八十歳と云ふ老人の、「お太陽様」

と呼ばれる酋長を押し立てて、去る

十五日サントスまで出て来て、地方

警察署長アラウジョ・ゴエス氏に頼

んで、聖市行きの乗車券を貰ひ受け

て出聖する事となつた、彼等の云ふ

所をきくと、既に先祖の代から、何

十年もの間住んでゐる土地が、附近

に奪はれて仕舞ひ相だ

▲と心配して、農務部長官に陳情の

上、自分等の土地について保護を得

たいと云ふのである

▲自然に逐ひ詰められてゆく印甸人

等が、自分等の棲む土地をやがては

奪はれやうと、取越苦勞が反抗心と

なつて、昨年も巴拉那州アラブア

バ郡の奥地で、印甸人等が内外民の

に續々入植して来る日本人等に、今

